

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画
① 使用料・手数料の見直し業務	予算編成方針で通知し、当初予算に反映させる。	通知回数	回	1	1	1	1
② 広告料導入に関する業務	予算編成方針で通知し、当初予算に反映させる。	通知回数	回	1	1	1	1
③ ふるさと寄附金に関する業務	市HP、物産イベント等で広く周知する。	通知回数	回	9	11	13	18
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H24目標	H25目標	H26目標	H27目標
			H24実績	H25実績	H26実績	
1 自主財源の確保	使用料・手数料の見直し額+広告料+ふるさと寄附金額	千円	2,000	2,000	2,500	4,500
			2,575	2,986	3,618	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	確保可能な自主財源が失われる。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、市民ニーズの低下により役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	ふるさと納税については、お礼の品や新たなPR方法、寄附者の利便性向上のためクレジット決済による寄附金の受入れ等を検討していく。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料、手数料⇒住民負担の公平確保と受益者負担の原則に立って見直しを行い適正化を図る。 ・広告料導入⇒公共施設(建物、土地、公用車)等の資産を広告媒体として活用することを検討する。 ・ふるさと寄附金⇒制度が改正され、寄附がしやすくなっている中、効果的なPR方法や魅力的な特典、業者委託など、県内他自治体の動きや成果を見極めながら、適切な方法をとっていきたい。
昨年からの見直し・改善状況【32】	<ul style="list-style-type: none"> ・H26年度に貸明ふれあいセンター使用料の徴収方法の改定を行った。他の施設に関しても見直す必要があるものに関しては、継続して検討をしていく。 ・ふるさと寄附の寄附者への特典(玉名市6次産品)の導入を始めた。これからも、新たな特典の導入を検討していく。また業務委託等も視野により多くの方が玉名市のふるさと寄附に興味を持っていただけのような内容にしていきたい。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	平成28年度以降普通交付税の削減による大幅な財源不足が見込まれるので自主財源の確保を図るため、使用料、手数料の見直しや広告料導入を引き続き検討するとともに、法改正により自治体へ寄附しやすくなったことで、より多くの人がが当市に関心を持ちふるさと納税をしてもらえるよう納付方法など利用しやすい制度を構築する必要がある。	評価責任者 小山 真二
------------------	---	----------------